

第 314 号（2026 年 9 月号） / 2026 年 9 月 1 日発行

利用者の声も聞かず こまバス大幅減便！

10月1日から。7月29日地域公共交通会議で承認

1日18便が9便に半減！ 朝7～8時台、夕方4時以降の便なし

7月下旬、狛江のコミュニティバス「こまバス」（小田急バスが運行し、狛江市が年間約2300万円補助）が、10月から大幅減便されることが明らかにされました。現在の一日18便（朝7時から夜8時まで）が9便に半減し、狛江駅の始発は9時半、最終は15時半と、朝と夕方以降のバス便がなくなるとされています（署名用紙のダイヤ改定表参照）。

運転手不足を主な理由として、7月中旬に小田急バスから狛江市に「協定書」に基づく協議の要望があり、市は「地域交通全体の利便性を維持するためのやむを得ない措置」と、あっさり承認してしまいました（7月29日の地域公共交通会議）。協議の場である地域公共交通会議は、26年7月以降の第30回以降は市民公募委員枠（3人）を廃止し、利用者としてPTA、自治会、老人クラブの各連合会からの参加としましたが、これらの委員からは減便計画に対する意見は何ら出されませんでした。

市議会に知らされたのも直前の7月24日の市議会建設環境常任委員会で、こまバスのダイヤ変更は議会の議決事項ではないとはいえ、議論の場も市民に意見を聞く場もないままに決められてしまいました。

利用者から「通院や買い物に困る」「外出できなくなる」と、悲痛な声

日本共産党が緊急に実施した「利用者アンケート」（回答46人）では、①減便は「とても困る」「困る」が合わせて87%、計画を「見直してほしい」が83%にのぼりました。②バス便がなくなることへの対応策としては、最多が「徒歩」（64%）で、

小田急バスが市に要望したダイヤ改定

狛江駅北口乗り場の時刻表

北ルートも南ルートも同じ時刻表

現行	改定案 10/1～
6	
7 15 45	1
8 00 45 45 45	2
9 30 45	1 30 45
10 15 45	1 15 45
11 00 45 45 45	2 00 45 45 45
12 30 45	1 30 45
13 15 45	1 15 45
14 00 45 45 45	2 00 45 45 45
15 30 45	1 狛 30
16 15 45	1
17 00 45 45 45	2
18 30 45	1
19 15 45	1
20 狛通 00	1
21	

「ほかのバス」（41%）、「自転車」（25%）が続きましたが、「外出をあきらめる」と回答した人が14%（6人）おられたことは基本的人権として「移動の権利」にかかわる問題です。③利用時間帯については「16～18時」の夕方が最多で、「買い物後に荷物を持って帰るのはしんどい（脊柱管狭窄症）」

「帰りのバスがなくなるのは困る。せめて18時まででは走らせて」という声があったように、夕方の時間帯のこまバス廃止は特に影響が大きいと予想されます。

ほかに、「妊娠しているため自転車に乗れず、保育園の送迎に使用している」「岩戸北の自宅から『ふらっとなんぶ』の往復に利用。減便されると夫が休みの日しか通えなくなる」「通院に利用。本数が少なくなると時間が合わなくなって大変困る」「80歳を過ぎ自転車やめたので、歩くしかない」「運転手不足では仕方がないが、弱者救済を」といった声などが寄せられました。

不便地域を補う貴重な公共交通として導入・発展、利用者も増加

こまバスは、矢野市政の2008年11月に交通不便地域解消を願う市民の声を受け、大型バスが通れない道などを通るルートを設定し、運行が開始されました。狛江の「こま」と、狛江のまちをきめ「細（こま）」かく走るバスという意味を込めて名付けられたそうです。利用者は増加傾向で、09年度の12.4万人から15年度には19万人、16年度は20万人を超え、2019年度までは19万人台で推移してきました。コロナ禍の20年度は約14万人と落ち込みましたが、22年度は18万人台、23年度には19万人台に回復し、24年度は史上最高の約21.7万人となりました。25年度は一日22便から18便への減便がありました。年間20.5万人が利用しています。これが半減されるのですから、10万人近い利用者に影響が及ぶことが予想されます。

共産党市議団小田急バス本社に申し入れ

日本共産党狛江市議団は、8月4日小田急バス本社（調布市仙川町）に減便計画を見直すよう申し入れを行いました。小田急バス側は、①地域公共交通を担う事業者としてできれば減便はしたくないが運転手不足などのもとでやむを得ない判断であること、②同時に、「車両はあるので運転手が確保できれば運行は可能」との見解も示されました。

運転手不足解消に国、都にも働きかけ、市もあらゆる努力を

バスの運転手不足は全都的、全国的な問題であり、市民の権利を保障する暮らしに欠かせない仕事を担う人を確保・育成するため国や東京都が抜本的な対策をおこなうことが求められています。同時に他

の自治体でバス運転手確保を支援したり、地域住民とともに協議会をつくりコミュニティバス復活を含め、多様な形態を模索しながら地域公共交通の維持・発展に取り組んでいるところもあります。狛江市も「仕方がない」という立場ではなく、まずは「なんとかしなければ」という立場に立って、市民の声を聞き、いっしょに問題解決に知恵を出し合うことが求められているのではないのでしょうか。

市長あてに見直し求める署名

こまえ社会保障推進協議会（豊かな会も参加）が呼びかけている「こまバスの大幅減便中止を求める」署名は、市長は運転手確保支援などを含め「あらゆる手立てをとって、こまバスの大幅減便を中止してください」と求めています。狛江駅前での署名行動では多くの市民が大幅減便計画を知らないことも浮き彫りになりました。

8月31日（月）、市長あてに第1次分として賛同者813筆の署名を提出しました。社保協は引き続き署名を呼びかけています。「豊かな狛江」9月号にも折り込みましたのでご協力をお願いします。

前狛江市地域公共交通会議委員
（市民公募、24年7月～26年2月） 重国たけし



利用者の声を聞いて！



こまえ社会保障推進協議会

松原市長に「こまバス減便中止を求める署名」813筆提出

市民の大切な足である「こまバス」が半減されると聞いて、こまえ社保協は加盟各団体に呼びかけ、署名活動に取り組みました。市民の方たちの驚きと困惑は激しく、交通困難地域の方たちからは署名とともに多くの声が寄せられています。

急な呼びかけにもかかわらず集まった813筆の署名を、第1次分として8月31日松原市長に届けました。これからも署名を集め、皆さんの声を届けるとのことですのでご協力お願いいたします。



市民生活支援に約3.7億円

臨時市議会（8/5）で補正予算実現

日本共産党狛江市議団

中東情勢の悪化によって原油の流通が不安定となり、あらゆる分野での物価高で深刻な状況が続いています。私たち市議団は、物価高騰への対応について市民生活支援をするべきということを繰り返し求めてきました。

当初臨時市議会の開催は、市長選挙を受け8月5日に開催予定でしたが、その後に臨時議会は開催しないことになりました。しかし、市長選挙後に当初の予定通りに8月5日に開催されることになり二転三転しました。

今回の補正予算の総額は約3億7千万円です。国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の狛江市に交付される総額は、約7,500万円。中東情勢の悪化で物価高騰が止まらない中、政治の役割は国民の暮らしを守る対策をとるべきです。ところが高市政権は先の国会で、憲法上の疑義がある乱暴な内容の法案を国民の声も聞かず、次々と採決を強行する一方、暮らしを支える対策がないということが、今回の補正予算の国の交付金をみても明らかです。

今回の補正予算では、これまでは低所得者への対策で生活保護世帯や住民税非課税世帯、また均等割

のみ課税世帯など低所得世帯への独自の給付金がありましたが、今回はありません。その理由は「住民税非課税世帯や所得制限を設けた支援なども検討した。しかし、その場合、中間所得層、いわゆるボーダーラインの世帯が税負担を負う一方で、支援から漏れてしまう事例もあったため、全市民を一律に対象とすることで複雑な審査工程を省略でき、いち早く支援を届けられるため、全市民を対象とした給付とした。」との答弁でした。改めて低所得世帯への支援を求めました。

具体的な物価対策としては、全市民を対象に一人3千円を支給、農家の皆さんには肥料代や種苗購入への補助、事業者については個人5万円、法人10万円の支給というものです。

自治体としての支援に限りはありますが、私たちは市の独自財源を活用しできる限りの支援を求めてきました。市はようやく今回は独自予算を活用して対応しました。

9月議会では、こまバスの大幅減便問題や高齢者対策、災害対策や（仮称）西和泉スポーツ施設なども取り上げる予定です。みなさんの傍聴をお待ちしています。（質問日程は6ページ参照）

こまえ社会保障推進協議会 2027 年度予算要望

「豊かな粕江をつくる市民の会」の要望事項

豊かな会が市長あてに提出する「2027 年度予算編成に関する要望」を紹介します。こまえ社会保障推進協議会が取りまとめているですが、2020 年秋以降、市は懇談に応じないので、市議会に「市長や市職員と地域団体が懇談できる環境づくりを求める」陳情をしました。9 月市議会で審議される予定です。

1. 「粕江市市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」を遵守して、郷土資料館を含む複合施設整備、再開発など今後の計画を市民参加・協働で検討してください。
2. 物価高騰のもと、生活に困窮している方々に経済的支援を強めてください。
 - ・国民健康保険税の値上げを中止し、今後の値上げ計画を見直してください。
 - ・介護保険料の値上げを抑制し、低所得者の利用料軽減制度をつくってください。
 - ・ひとり親家庭及び子育て家庭、若者、高齢者等への家賃補助制度をつくってください。
 - ・補聴器購入費助成制度を拡充し、装着に習熟できるようケアセンターをつくってください。
3. 子どもたちのために
 - ・学童クラブの待機児をゼロにしてください。
 - ・全小中学校の女子トイレに生理用品を市の制度として常備してください。
 - ・国や都に支援を求めることを含めて、修学旅行費や教材費無料化を進めてください。
 - ・所得制限を撤廃し、18 歳までの医療費を無料化してください。
4. 市民の健康のため調布・粕江に保健所を復活させるため国や都に強く働きかけてください。
5. マイナ保険証の強制をやめ、健康保険証を存続させこれまで通り使えるよう国に求めてください。
6. PFHxS を含め有機フッ素化合物の地下水等への汚染の原因を突き止め、公費で市民の PFAS 血液検査を行うなど再発防止と必要な対策をとってください。
7. 自衛隊に本人同意を得ない個人情報提供をしないでください。
8. だれもが生きやすい粕江をつくるためパートナーシップ制度を導入し、性的マイノリティの現状を理解した行政サービス・生活支援策を実施してください。
9. バス減便・路線廃止等で生じている交通不便地域に対し市としての対応を検討してください。
10. 商工業、農業の振興をはかり活気と賑わいのあるまちにするため
 - ・住宅リフォーム助成制度、店舗リニューアル助成

制度をつくってください。

- ・公契約条例をつくり、公契約に係る業務に従事する労働者の適正な労働条件の確保をはかることにより、公契約に係る業務の質の確保、市内産業の振興・地域経済の活性化、市民生活の安全安心・福祉の増進を実現してください。
11. 気候危機打開へ再生可能エネルギーの利用拡大と省エネの取り組みを
 - ・2030 年までの CO₂削減目標を 2010 年比で 60% に上げるとともに 2035 年までの削減目標を設定し、国や都の施策とも連携し、市の施策全般にわたり具体的対策を推進してください。
 - ・市内の事業所にも再生可能エネルギーの利用を働きかけてください。
 - ・初期費用ゼロの PPA 事業等を参考に、市内の公共施設等での太陽光パネル設置事業を促進、市内の事業所にも活用を働きかけてください。
 - ・市内農地でのソーラーシェアリング事業を検討し、生産緑地での実施が可能となるよう政府に働きかけてください。
 - ・原発ゼロ、石炭火力の段階的廃止、再生可能エネルギーの抜本的拡大を政府に働きかけてください。
 12. 災害死者ゼロ・浸水被害ゼロをめざし、災害対策を抜本的に強化してください。
 - ・設置や貯留施設の整備など具体的対策を遅滞なく推進してください。
 - ・避難行動要配慮者の避難をより安全敏速に行えるよう移動支援の強化、福祉避難所の体制強化など促進してください。
 - ・自動起動装置付き防災ラジオの貸し出し対象者を要配慮者全体に拡大し、一般市民も利用できるよう購入費助成制度を創設してください。
 - ・防災学校を開設し地域の防災リーダーを養成し、住民参加で地域の防災訓練と地区防災計画をすすめてください。
 13. ロシアのウクライナ侵略即時中止とガザ・イスラエル即時停戦と米・イスラエルのイラン攻撃の中止を求め、粕江市平和都市宣言にもとづき、憲法 9 条を守り核兵器禁止条約への日本の参加を求めてください。

9月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。

※本紙に折り込んでほしいピラなどは、260部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(木) 17時～18時	狛江駅前北口 広場	Silent Standing	平和憲法を広める狛江連絡会
6日(日) 13時30分～ 16時	エコルマホール	こまえ平和フェスタ 2026	平和フェスタ実行委員会
9日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	9の日行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
11日(金) 10時～	みんなの広場	「豊かな狛江」10月号 編集会議	
16日(水) 10時～12時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協 事務局・役員会	
16日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の 会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部 が中心。第4水曜日ですが、秋 分の日のため変更。
17日(木) 16時～	中央公民館 多目的室3	《平和憲法を広める狛江連 絡会》《こまえ九条の会》 合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
28日(月) 14時～16時	みんなの広場	拡大世話人会	
29日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 10月号の製本・仕分け作業	世話人以外の方の参加歓迎で す。



市議会第3回定例会(8/26～10/5)の日程
は次ページにあります。

令和 8(2026)年第 3 回定例会の日程

豊かな会推薦議員の一般質問予定

9月4日（金） 3 番目

14 岡村しん議員

- 1 所信表明について (1) 今後の市政運営について
- 2 災害対策の推進について (1) 震災対策の推進について ① 熊本地震の教訓と課題 ② ライフラインの強化について ③ 避難所について ④ 情報提供について ⑤ 今後について (2) 水害対策の推進について ① 令和 8 年 8 月千葉豪雨の教訓と課題 ② 今後について
- 3 子育て支援の充実について (1) 児童館の日曜開放について (2) 修学旅行の無償化について

15 宮坂良子議員

- 1 高齢者が安心して暮らし続けられるように～特養ホーム増設、看護小規模 多機能を (1) 特養ホームについて ① 高齢者の実態と待機者数 ② 増設についての見通し (2) 看護小規模多機能型居宅介護について ① 市の介護保険計画と実施状況 ② 今後の計画・とりくみ
- 2 誰もが利用しやすいデマンド交通に (1) デマンド交通の目的、位置付け (2) 実証運行の内容について (3) 市民参加でのとりくみ・運営を

16 西村あつ子議員

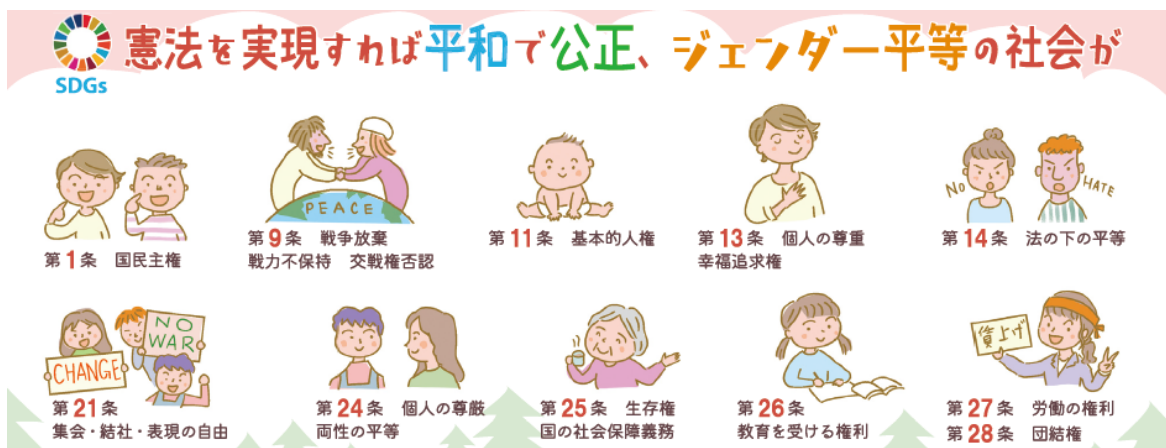
- 1 市民要望について (1) 子育て支援について ① 産後支援の現状と課題 ② 子どもショートステイの今後について (2) 教育環境の整備について ① 学校給食無償化の現状と課題 ② 市立学校以外の給食無償化について ③ 熱中症対策への取組
- 2 (仮) 西和泉スポーツ施設について (1) 概要 (2) 市民説明会について (3) 建設費用について (4) 環境への配慮について

9月7日（月） 1 番目

17 荒木てつ議員

- 1 水道道路拡幅について (1) 用地取得率の現状について (2) 安全対策について (3) 周辺のまちづくりについて (4) 街路樹について
- 2 こまバスの大幅減便について (1) こまバスの運行開始の経緯 (2) 大幅減便の理由と経緯 (3) 市民への周知について (4) 市民説明会について

日程	開会時間	内容
8月19日（水曜日）	午前9時	議会運営委員会
8月26日（水曜日）		本会議（初日）
9月2日（水曜日）		本会議（一般質問）
9月3日（木曜日）		
9月4日（金曜日）		
9月7日（月曜日）		
9月9日（水曜日）		総務文教常任委員会
9月10日（木曜日）		社会常任委員会
9月11日（金曜日）		建設環境常任委員会
9月18日（金曜日）		決算特別委員会
9月24日（木曜日）		決算特別委員会
9月25日（金曜日）		決算特別委員会
10月2日（金曜日）		議会運営委員会
10月5日（月曜日）		本会議（最終日）



こまえ平和フェスタ 2026
9月6日（日）13：30 開幕
（開場 12：30）
場 所：エコルマホール

合唱：「ドレミの歌」「見上げた空から」
朗読劇（中学生）「日本国憲法と私たち」
座談会（高校生）「いま平和について思うこと」
全員合唱：「水と緑のまち」

今年の平和フェスタは狛江市・調布市を始め、NP0
ちようふこどもネット、市民活動支援センター、和
光中学・高校、恵泉女学園演劇クラブ、小学校放課
後クラブ、紙芝居継承グループ等々と一緒に企画・
準備しました。そして市民公募による平和合唱団に
は小学生・市民が参加し、平和を願う俳句・短歌・
川柳、絵手紙・ちぎり絵、そして自作絵画の提供な
ど、市民の手作りで、舞台も展示も華やかになりま
した。高校生による座談会も平和への思いを記した

アンケートを共有し、初顔合わせをするなど準備し
ています。狛江発で世界！に平和を求める祭典です。
ぜひ、皆さんの来場をお待ちしています。そして
10代の若者たちの平和への考えや思い、希望を一
緒に感じてください。

（投稿 西尾真人）

ホームページ：

<https://komae-heiwa-fes.clean.to/>



朗読劇の皆さん。この夏休みに10回も練習！ 厳しい練習の合間のひと時で～す！



「ドレミの歌」を力強く歌う子どもたち

8月の Silent Standing

8月3日のスタンディングは7名、デモ
カレンダーを見て川崎から若い女性が参
加されました。



九の日行動

8月9日（日）17時からスピーチと署名を行いま
した。新婦人狛江支部は核兵器禁止条約参加を求
める署名も行いました。参加者30名、核兵器禁止
署名28筆、9条署名25筆。デモカレンダーで4
名参加。スピーチもしてくれました。



**No War！なくそう核兵器！
守ろう憲法9条！**

9・3 Silent Standing

3日（木）17時より

狛江駅北口にて

平和憲法を広める狛江連絡会

九の日行動

9日（水）17時30分より

狛江駅北口にて

戦争なんてイヤだ！狛江実行委員会

[国際刑事裁判所（ICC）赤根所長に対する米国による制裁の即時撤回を求めます。日本政府は制裁を拒否し、赤根所長を支持・保護する具体的行動を取ってください。]

オンライン署名 13万5千筆超える(8/30)

赤根智子所長自身も、「非常に力を得ている。これは、ICCに対する応援であるとともに、日本国民が自分のこととして、この事態を受け取ってくれているものと感じている。政府も、国民の声を無視することはできないというふうには思っている」と述べています。更に声を広げましょう！

署名リンク：<https://c.org/LTJhzxH6sX>

狛江の風物誌



以前にも紹介した野川遊歩道で飼われている「まる」。散歩する誰からも愛されているが、まるは人好みをする。私にはそっけない。相棒の「とら」は春先に亡くなり、葬儀が営まれ、お寺に埋葬されている。
(和泉本町 西尾真人)